



こころつなく。笑顔かがやく。

MOROZOFF View

第95期 報告書 2024年2月1日～2025年1月31日

安定した収益の確保と サステナビリティの実現を目指します。

代表取締役社長 **山口信二**



株主の皆様には格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

当連結会計年度における当社グループを取り巻く環境は、雇用・所得環境が改善するなか、各種政策の効果もあり、景気は緩やかに回復いたしました。しかしながら、物価上昇による消費マインドの停滞や不安定な世界情勢など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境下において、当社グループは企業スローガン『こころつなぐ。笑顔かがやく。』のもと、スイーツを通して心豊かな生活をお届けすることを基本姿勢として、安心、安全かつ高品質な商品をお客様に提供することに注力しました。

その結果、第95期の業績につきましては、「当期の概況」に記載のとおりとなりました。

中期経営計画 「つなぐ ~next stage 2031~」の「Step1」 最終年度を迎えました。

当社は現在、2024年1月期からスタートした中期経営計画「つなぐ ~next stage 2031~」の「Step1」に取り組んでおり、2026年1月期は最終年度となります。

中期経営計画では、中長期ビジョンである「企業価値の向上」「ブランド価値の向上」「社会的価値の向上」を達成

するために、①新たなる「成長戦略」の実現、②コスト抑制とさらなる生産性向上、③人材確保と従業員満足度向上、を中長期戦略テーマとして取り組んでおります。

中期経営計画「つなぐ ~next stage 2031~」の「Step1」の最終年度(2026年1月期)の目標数値は、2024年1月30日に売上高35,500百万円、営業利益率6.5%といたしました。しかし、2025年3月14日発表の2026年1月期の業績見込では、原材料価格や人件費、経費などの大幅上昇を踏まえ、売上高36,050百万円、営業利益率2.8%となり、中期経営計画「Step1」の最終年度の目標数値に対して、売上高は上回る見込みですが、営業利益率は未達となることを予想しております。

今後とも、生産や販売での生産性の向上を図るとともに、価格改定、商品設計の見直しなどの原価低減対策により、利益率の改善に取り組んでまいります。

時代に即したお客様接点を創造し、お客様に提供する新たな価値を創造することで、未来につながる経営基盤を築くとともに、新たな成長戦略を講じて、景気変動や環境変化に左右されない、安定した収益の確保とサステナビリティの実現を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、何とぞ格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当期の概況

営業の概況

売上面につきましては、物価高騰による買い控えも見られましたが、バレンタインデーやホワイトデーなどのイベント商戦が好調に推移したことに加え、2023年に卵の供給制限により不足した商品を例年どおりに展開できたことなどもあり、当連結会計年度の売上高は36,017百万円(前期比3.1%増)となりました。

損益面につきましては、増収に加え、店舗や工場の人員体制の最適化に努めるとともに一部商品の価格改定に取り組んだものの、カカオを中心とした原材料価格の急激な上昇や、賃金の引上げによる人件費の増加、輸送費用の上昇や船橋物流センター移転に伴う諸費用計上などにより、営業利益は2,058百万円(前期比



16.8%減)、経常利益は2,098百万円(前期比16.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は、1,414百万円(前期比17.5%減)となりました。

喫茶・レストラン事業
5.5% (1,977百万円)

その他菓子
2.2% (777百万円)

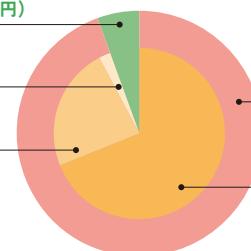
洋生菓子
23.4% (8,430百万円)

売上高総計
36,017百万円

区別売上高比率

洋菓子製造販売事業
94.5% (34,039百万円)

干菓子
68.9% (24,831百万円)



洋菓子製造販売事業の概況

干菓子につきましては、経済活動の正常化により需要が活性化したことで、バレンタインデーやホワイトデーの商品に加え、テーマパーク向けの商品なども好調に推移しました。また、2023年に卵の供給制限により不足していた「ファヤージュ」につきましても、2024年には例年どおりに展開できたことや、バターにこだわった焼菓子ブランド「ガレット オ ブール」の売上貢献もあり、売上高は順調に推移しました。

洋生菓子につきましては、発売55周年を迎えたチーズケーキは記念商品の発売などにより好調に推移しましたが、物価上昇に伴うデザート類の買い控えもみられ、プリンやゼリーなどのチルドデザート、フィナンシェなどの半生菓子は前期を下回る売上高となりました。

その結果、当事業の売上高は34,039百万円(前期比3.0%増)となりました。

喫茶・レストラン事業の概況

喫茶・レストラン事業につきましては、人流の増加に加え、メニューの改変等により売上拡大を図った結果、売上高は1,977百万円(前期比5.4%増)となりました。



焼菓子拡大戦略による新ブランド

中期経営計画「つなぐ～next stage 2031～」の戦略テーマの一つである「新たな『成長戦略』の実現」に向け、焼菓子によって新たな価値と市場を創造し、成長基盤をつくることを目指しております。この戦略に基づき2024年に誕生した新たな焼菓子ブランドをご紹介します。



太陽のガレット

GALETTE DU SOLEIL

北海道産ファーマントバター使用
ヨーロッパ伝統菓子“新”ガレット専門店

焼き菓子の決め手「バター」
風味豊かで濃厚な味わいの発酵バターをたっぷりと
こだわりの“伝統菓子”には素材ひとつひとつの太陽の恵みをつめこんで
黄金色の焼き菓子をお楽しみください。

TEA BREAK

COOKIE & PIE

素材にこだわったおいしさ
ティーブレイク

ザクッと香ばしく焼き上げたオーツ麦のクッキーや、
バター香るサクサク食感のパイ。そして、ほろっとほどける食感のサブレ。
ほっと一息つける、自分だけの大切な時間や、
大切な方とテーブルを囲むティータイム。
カジュアルなプレゼントや、フォーマルな贈り物などにもぴったりです。



北海道産発酵バター

～特別な製法で仕立てたファーマントバター～

水分量が少なく濃厚な味わいと風味豊かな香りが特長。
きめが細かくなめらかな口当たり。

焼き菓子専用のオリジナル小麦粉“ななほなみ”

～北海道産小麦100%使用～

粗挽きの小麦粉に仕上げ、焼き菓子のより繊細で
ほろほろほどけるような食感を生み出しています。



Line up!



太陽のガレット

芳醇な香りのラムレーズンを
味わうスペンチャリテ



木の葉のガトーバスク

柔らかいくるみと香ばしい
キャラメルを閉じ込めて



大地のパレブルトン

北海道産発酵バターの
風味が口いっぱい



木の葉のフロランタン

カリッとしたアーモンドの
食感を楽しむ



花のポルボロン

ほろほろ食感を生み出す
小麦粉で口どけ軽やか

大丸東京店にて先行販売実施

2024年5月22日～5月28日、焼菓子拡大戦略における新ブランド「太陽のガレット」の
全国初登場となる催事を大丸東京店で開催しました。SNS効果や新ブランドとしての
新鮮さもあり、多くのお客様で賑わいました。



Line up!



クッキー・パイ・サブレ詰合せ

上品で洗練されたデザインのギフト缶に、クッキー・パイ・サブレを
バラエティ豊かに詰め合わせました。
それぞれの食感や素材の味わいが楽しめるアソートです。

クッキー・パイ詰合せ

ピンク色が鮮やかに映える
デザインの缶に
クッキー・パイを詰め合わせました。

パイ詰合せ

水色がさわやかに映える
デザインの缶に
パイ2品を詰め合わせました。

横浜そごう「クッキー博覧会」にて先行販売実施

2024年5月23日～6月3日、横浜そごうで第3回クッキー博覧会が開催されました。
当社は第1回より出店しており、3回目の出店となります。今回は「TEA BREAK」の
デビュープロモーション催事として展開。広告掲載商品の「クッキー・パイ詰合せ」
など、「TEA BREAK」限定の商品をお求めになるお客様で行列ができました。



新店舗情報「銀座三越CUSTA」オープン



カスタードの奥深い魅力を楽しむブランド「CUSTA(カスタ)」の2号店が、2024年10月30日、銀座三越にオープンしました。「CUSTA(カスタ)」は、モロゾフのカスタードプリンが発売60周年を迎えた2022年4月に阪神百貨店梅田本店に1号店をオープン。関東初の常設店として、モロゾフがこだわり続けてきた“カスタード”の奥深い魅力をお届けしていきます。

銀座三越限定



カスタードクーヘン(ダブルカラメル)

しっとり焼き上げた口だけの良いたまごの風味豊かなケーキに、ほろ苦いカラメルソースとシュガーグレーズの繊細な味わいのコントラスト。香ばしい焦がしキャラメリゼのカリッとした食感がアクセントに。

CUSTA

カスタ

カスタード。その奥深い世界へ。

素材の良さや職人の技術がダイレクトに現れる“カスタード”。そのおいしさを決める大事な素材の“たまご”や、長年培った伝統の技術・レシピにこだわり、新体験のカスタードスイーツが誕生しました。モロゾフ人気のカスタードプリンが誕生して約60年。こだわり続けてきた“カスタード”の奥深い魅力があふれるスイーツをお楽しみいただけます。



神戸本店が5周年を迎えました

2024年11月に「神戸本店」のグランドオープンから5周年を迎えました。日頃のご愛顧に感謝の気持ちを含めて、新商品の先行販売や神戸本店限定商品、期間限定のカフェメニューを発売。また、チョコレートをコンセプトに、当店でははじめてウィンドウアートも展開しました。

コンセプトは「チョコレートのモロゾフ」

黒板アーティスト
チョークボーイ氏に
オリジナルアートを
描いていただきました！



クリームチーズケーキ発売55周年

1969年にモロゾフがクリームチーズケーキを発売してから、2024年で55周年を迎えました。これを記念して、5つの新しいチーズケーキを期間限定で販売しました。デンマーク王室御用達ブランドのクリームチーズ「Arla BUKO(アーラ ブコ)」を使用したチーズケーキなど、味にも見た目にもこだわりがつまったチーズケーキをご紹介します。



第1弾



55thチーズケーキ(クリームリッチ)
2024/4/1~5/31

「Arla BUKO」のクリームチーズと北海道産の生クリームを合わせ、とろりとクリーミーに焼き上げました。

第2弾



55thチーズケーキ(メルティスフレ)
2024/7/1~7/31

ミルクィなクリームチーズとココのあるチェダーチーズが生み出す奥深い味わいです。

第3弾



55thチーズケーキ(復刻クラシック)
2024/8/1~8/中旬

ミルクの風味豊かなデンマーク産クリームチーズにたっぷりの牛乳を加えてマイルドに焼き上げました。

第4弾



55thチーズケーキ(プレミアムレア)
2024/9/25~10/中旬

北海道産マスカルポーネチーズを使用したはちみつ香るレアチーズケーキに風味豊かなカスタードクリームとスポンジグラムを合わせました。

第5弾



55thチーズケーキ(ラムレーズン&バター)
2024/11/8~11/11

ホワイトチョコレートとラムレーズン、バターを合わせたクリームと、レモンが効いたデンマーククリームチーズケーキの濃厚な2層の味わいです。

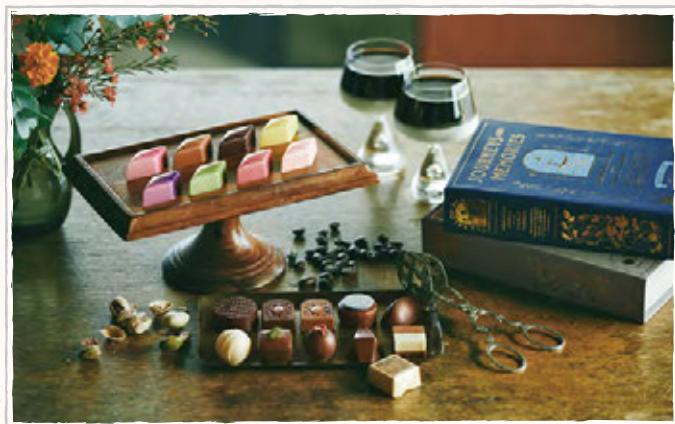
Cheesecake 1969

1969年発売
モロゾフの
「クリームチーズケーキ」

1969年の発売当時、チーズケーキは現在のように一般的ではありませんでした。1970年代、雑誌などでチーズケーキが注目されるようになると、モロゾフのクリームチーズケーキはその先駆けとしてご好評をいただきました。こだわり続けてきた厳選したデンマーク産の上質なクリームチーズを使用することで、乳の風味が豊かで、ココがあり、きめの細かい、おいしさがぎゅっと詰まったチーズケーキに仕上がります。

2025 VALENTINE'S DAY

1932年、日本ではじめてバレンタインにチョコレート贈るスタイルを紹介したモロゾフ。
2025年のバレンタインに登場した新しいブランド「喫茶ペンギン」をご紹介します。



旅と思い出の味わい。

ここは「旅好き」の店主がひとりで営む喫茶店。
店の片隅の本棚には、旅で出会った人たちの思い出や
その人たちと交わしたちょっといい言葉を記録した手記が置いてある。
束の間のお休みをもらい、旅に出て、帰国した店主。
常連のお客さんに旅の思い出を語りながら
旅先で出会った味わいを喫茶メニューにしました。

「旅の手記」をイメージした、
ブランドの中心商品
「旅とダイアリー」

手記をイメージしたブック型
ボックスに、旅先で見た風景や
出会った味わいをチョコレート
にして詰め合わせました。
ボックスを開くと、それぞれの
旅の物語が素敵なイラストで
描かれています。



旅とダイアリー
(きらめく運河と星空テラス)



旅とダイアリー
(オリーブ畑と気ままなピストロ)



喫茶ペンギン



旅するペンギン



旅するティーポット

株式分割の実施について

2024年12月13日開催の取締役会において、株式分割について決議し、以下のとおり実施しました。

株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることで、投資家の皆様により投資しやすい環境を整えるとともに、株式の流動性の向上と投資家層のさらなる拡大を図ること。

株式分割の方法

2025年1月31日を基準日として、2025年2月1日付で、当社普通株式1株につき、3株の割合をもって分割しました。

株式分割により、株主様の所有株式数は3倍となりますが、1株当たりの資産価値は理論上3分の1となりますので、株式の資産価値に影響はありません。なお、株主様による特段の手続きは必要ありません。

株主優待制度の変更について

当社は、毎年7月31日現在の株主名簿に記載または記録された株主様を対象に株主優待を実施しております。2025年7月31日基準日より、株主優待制度を以下のとおり変更いたします。

- ・2025年2月1日付の株式分割(1株を3株に分割)に伴い、株主優待の対象を株式分割後の100株以上保有の株主様に拡大いたします。
- ・当社株式を中長期的に保有していただける株主様を増やすことを目的として、株主優待対象株主様に「半年以上保有」の条件を追加いたします。
- ・モロゾフオンラインショップでの株主優待は、株主様の利用率が低いこともあり、廃止させていただきます。

※2024年7月31日現在の株主名簿に記載または記録された株主様は、2025年10月31日まで、従来通りモロゾフオンラインショップでの株主優待をご利用いただけます。

●変更後の株主優待制度

- ①基準日：7月31日(年1回) ②優待品：自社商品または株主優待券

保有年数	保有株数(1株→3株に分割後)							
	100~299株	300~2999株		3000株以上				
半年以上 3年未満	1,000円相当 の自社商品	優待券 5冊(20枚綴)	2,000円相当 の自社商品	どちらか 1つ選択	優待券 10冊(20枚綴)	3,000円相当 の自社商品		
3年以上	2,000円相当 の自社商品	優待券 5冊(20枚綴)	2,000円相当 の自社商品A	2,000円相当 の自社商品B	いずれか 2つ選択	優待券 10冊(20枚綴)	3,000円相当 の自社商品A	3,000円相当 の自社商品B

- 優待券または商品は、11月下旬頃に発送いたします。
- 株主優待券の有効期限は、翌々年5月31日です。
- 株主優待券は当社の指定店および通信販売で優待券1枚につき割引前本体価格1,000円までの現金でお買い上げ、ご飲食に対して20%を割引いたします。

- 半年以上保有の株主様は株主名簿(7月31日現在と1月31日現在の年2回発行)に、同一の株主番号で、2回以上連続で記録された株主様といたします。
- 3年以上保有の株主様は株主名簿に7回以上連続で記録された株主様といたします。

財務ハイライト

■ 連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	期別	前期 (2024年1月31日現在)	当期 (2025年1月31日現在)
		金額	金額
(資産の部)			
流動資産		17,452,510	15,293,576
固定資産		10,467,235	10,297,437
有形固定資産		7,598,065	7,104,385
無形固定資産		191,505	219,522
投資その他の資産		2,677,664	2,973,529
資産合計		27,919,745	25,591,013
(負債の部)			
流動負債		7,533,747	5,412,268
固定負債		666,132	695,497
負債合計		8,199,880	6,107,765
(純資産の部)			
株主資本		19,240,846	18,939,136
資本金		3,737,467	3,737,467
資本剰余金		3,922,552	3,924,810
利益剰余金		12,146,385	12,641,274
自己株式		△ 565,558	△ 1,364,417
その他の包括利益累計額		479,017	544,112
その他有価証券評価差額金		486,662	461,392
土地再評価差額金		290,138	290,138
為替換算調整勘定		86,331	107,985
退職給付に係る調整累計額		△ 384,115	△ 315,404
純資産合計		19,719,864	19,483,248
負債・純資産合計		27,919,745	25,591,013

■ 連結損益計算書

(単位:千円)

科目	期別	前期 (2023年2月1日から 2024年1月31日まで)	当期 (2024年2月1日から 2025年1月31日まで)
		金額	金額
売上高		34,933,847	36,017,735
売上総利益		17,978,983	18,291,862
営業利益		2,474,392	2,058,795
経常利益		2,517,764	2,098,218
税金等調整前当期純利益		2,623,779	2,134,169
親会社株主に帰属する当期純利益		1,715,689	1,414,986

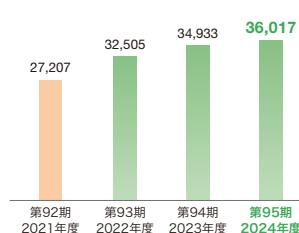
■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	期別	前期 (2023年2月1日から 2024年1月31日まで)	当期 (2024年2月1日から 2025年1月31日まで)
		金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,117,394	△ 561,218
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 456,741	△ 679,316
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,011,282	△ 1,822,737
現金及び現金同等物に係る換算差額		36,587	17,161
現金及び現金同等物の増減額		685,958	△ 3,046,110
現金及び現金同等物の期首残高		5,647,290	6,640,761
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高		307,512	—
現金及び現金同等物の期末残高		6,640,761	3,594,650

■ 売上高

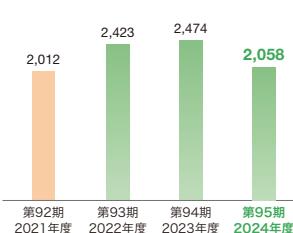
(百万円)



360億17百万円
(前期比 3.1%増)

■ 営業利益

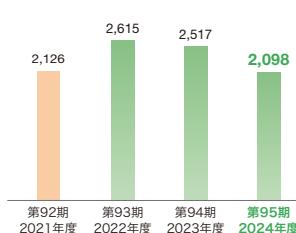
(百万円)



20億58百万円
(前期比 16.8%減)

■ 経常利益

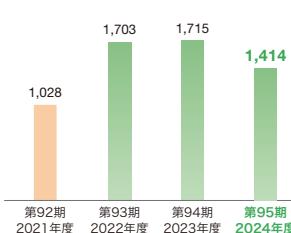
(百万円)



20億98百万円
(前期比 16.7%減)

■ 当期純利益

(百万円)



14億14百万円
(前期比 17.5%減)

(注) 1. 第92期は単体の数値、第93期からは連結の数値です。
2. 第93期の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。

第96期の予想

第96期(2025年2月1日～2026年1月31日)の業績予想につきましては、新焼菓子ブランドの売出による売上増などが見込まれるものの、物価上昇の影響による消費マインドの停滞に加えて、香港の子会社で連結会計期間中に春節が含まれないこともあり、通期の売上高は若干の増加程度に留まるものと想定しております。
一方、損益面では、カカオを中心とした原材料価格の大幅な上昇が継続することに加え、働き手不足がさらに深刻化することにより、物流コストの増加や人件費の上昇など、大幅なコストアップ要因が見込まれます。これに対して、さらなる生産性の向上に加え、価格改定や商品設計の見直しなどの原価低減対策を講じていきますが、コストアップ要因のすべてをカバーすることは困難であり、売上原価率の上昇や経費、人件費の増加を想定しております。

■ 業績予想

(単位:百万円)
(%は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第96期(予想)	36,050	1,020	1,070	570
	0.1%	△ 50.5%	△ 49.0%	△ 59.7%

■ 配当予想

(単位:円)

	中間	期末	合計
第95期	35	47	82
第96期(予想)	6	8	14

(注)2025年2月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。
第95期については、当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。
第96期(予想)については、当該株式分割後の配当額を記載しております。

2032年1月期(100周年)に向けた中期ステップ

当社は2031年8月に100周年を迎えますが、100周年を最終年度とした中期経営計画「つなぐ～next stage 2031～」を2024年1月期からスタートしております。2024年1月期～2032年1月期の9年間を「Step1」「Step2」「Step3」の3段階に区切り、2026年1月期は「Step1」の最終年度にあたります。



2025年3月14日に公表いたしました2026年1月期の連結業績予想は、①カカオなどの原材料価格の大幅な上昇、②物流コストの増加、③人件費の想定以上の上昇、などを背景に、「Step1」最終年度の損益目標数値を下回る見込みです。

一方「Step1」では、「Step2」以降の成長を支える戦略基盤を確立するべく、船橋工場の新設や西神工場の改修、新たな製造設備の導入などの戦略投資を着実に進めております。100周年に向けて中期経営計画「つなぐ～next stage 2031～」の実現を目指してまいります。

株式情報

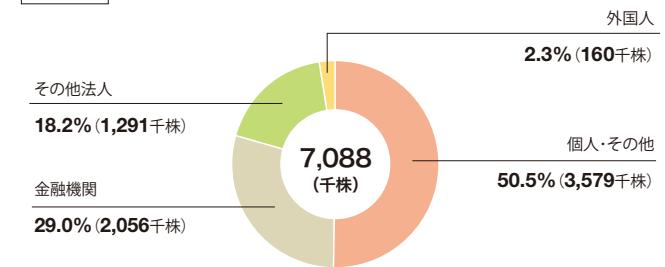
■ 株式の状況(2025年1月31日現在)

発行可能株式総数	24,000,000株	株主数	16,597名
発行済株式の総数	7,088,452株	うち単元株主数	12,078名

(注)2025年2月1日付の株式分割(1株を3株に分割)により、発行可能株式総数は72,000,000株に、発行済株式の総数は21,265,356株になりました。

■ 株式分布状況(2025年1月31日現在)

所有者別



株主メモ

事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	4月中
基準日	定時株主総会・期末配当 1月31日 中間配当 7月31日
公告方法	電子公告 https://www.morozoff.co.jp/koukoku/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告 ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問い合わせ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 ☎(通話料無料)0120-094-777

【ご注意】

- ◎株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。株主名簿管理人ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- ◎特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
お手続き用紙のご請求は、インターネットでも承っております。
インターネットホームページ <https://www.tr.mufj.jp/daikou/>
- ◎未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

表紙の商品について

凍らせてシャーベット

凍らせてからスプーンでふわりと
軽くなるまでかきまぜると
驚くほど繊細でなめらかな食感に。
爽快感あふれる口どけとともに
ひんやりフルーティな味と香りが
広がります。



モロゾフ株式会社

www.morozoff.co.jp



〒658-0033 神戸市東灘区向洋町西五丁目3番地

☎078-822-5000(代表)

(登記上の本社 神戸市東灘区御影本町六丁目11番19号)

会社概要 (2025年1月31日現在)

商号	モロゾフ株式会社 Morozoff Limited
設立	1931年8月8日
従業員数	541名(連結:566名) (注)上記従業員の他、執行役員(委任型)1名、嘱託社員52名 および臨時従業員がおります。
上場取引所	東証プライム市場(証券コード:2217)
事業所	〈営業所〉 本社(神戸) 御影オフィス併設・六甲アイランド オフィス(神戸)・関西支店(神戸)・東京支店・ 福岡支店・北海道営業所(札幌)・仙台オフィス・ 名古屋オフィス 〈工場〉 西神工場(神戸)・六甲アイランド工場(神戸)・ 船橋工場・福岡工場・札幌工場

役員 (2025年4月25日現在)

代表取締役社長	山口 信二
代表取締役副社長(管理部門統括)	山岡 祥記
常務取締役(マーケティング本部長)	鈴木 正人
取締役(生産本部長)	高田 耕治
取締役(経営統括本部長)	磯野 健治
取締役(営業本部長)	佐々木 誉之
取締役	笠原 かほる
取締役	森澤 武雄
取締役(常勤監査等委員)	木村 雅一
取締役(監査等委員)	渡邊 純子
取締役(監査等委員)	松尾 茂樹

(注)笠原かほる、森澤武雄、渡邊純子、松尾茂樹の各氏は、社外取締役であります。